



学校評価特別号

平成26年9月



学校だより



京都市立西大路小学校

校長 岩坂 隆志

TEL 313-0501

FAX 313-4912

平成26年度前期学校評価

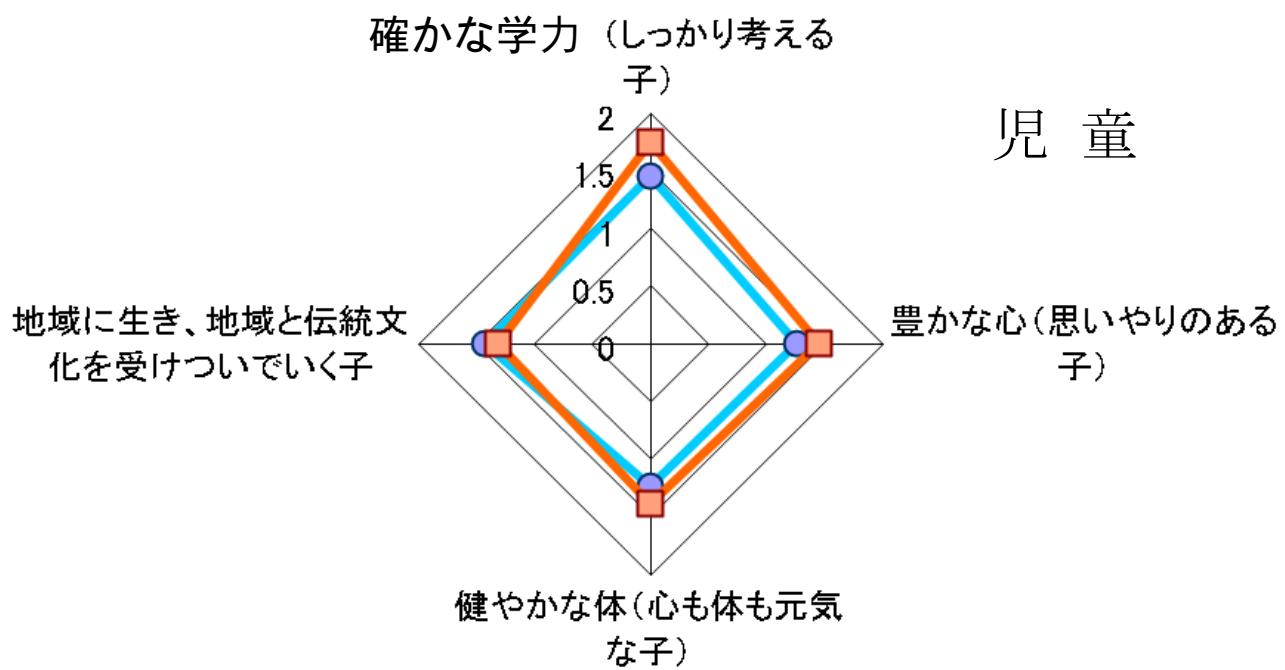
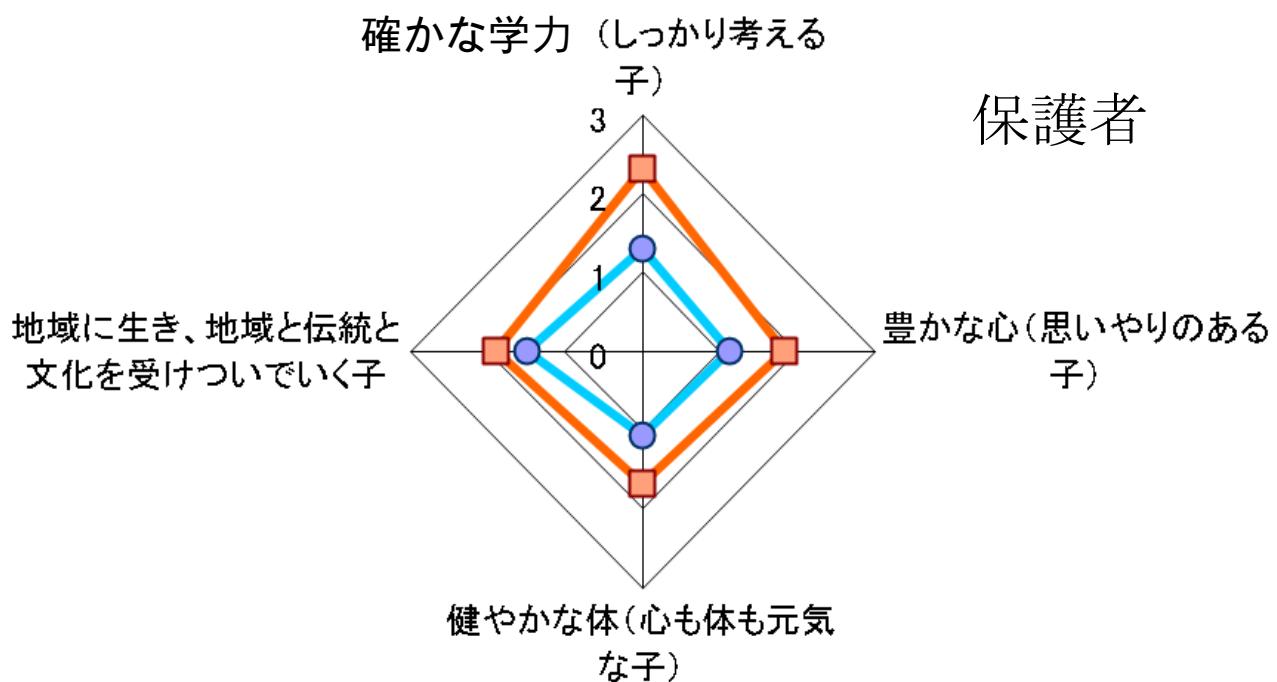
学校評価アンケートにご協力ありがとうございました。アンケートを分析し夏休みまでの取り組みについて評価します。

○アンケート集計結果

		保護者			児童		
	質問項目	重要度	実現度	ニーズ度	重要度	実現度	ニーズ度
確かな学力	家でしっかり学習をしていますか。	6.4	4.5	22.4	6.2	5.4	16.1
	家で読書をしていますか。	6	3.6	26.4	5.7	5.5	14.3
	学習の内容が理解できていますか。	6.7	5	20.1	6.2	5.3	16.7
豊かな心	あいさつをしていますか。	6.9	5	20.7	6.4	5.9	13.4
	学習や生活のルールを守り、規律ある行動ができるていますか。	6.5	4.5	22.8	6	4.6	20.4
	たてわり活動などで他学年の児童と温かいかかわりを持つことができますか。	6.5	5.6	15.6	5.8	5.1	16.8
健やかな体	安全に気を付けて登下校ができますか。	6.5	5.5	16.3	6.4	6	12.8
	元気よく体を動かして遊んでいますか。	6.5	4.7	21.5	5.8	5.2	16.2
	早寝・早起き・朝ごはんなど、望ましい生活習慣ができますか。	6.4	4.3	23.7	5.7	4.4	20.5
地域	地域のお祭りや行事に参加できましたか。	5.8	5.1	16.8	5.9	6.3	10
	地域の方のお世話になる学習(地域探検、お祭り、栽培、伝統産業……)に積極的に取り組んでいますか。	6.1	5.1	17.7	6.3	6.4	10.1

「とても重要である、できている」を7、「やや重要である、出来ている」を5、「あまり重要でない、出来ていない」を3、「重要でない、出来ていない」を1として平均を算出しました。

ニーズ度は、《重要度×(8-実現度)》です。最高ポイントは49になります。重要だけども出来ていないとニーズ度が高くなります。



○学校教育目標

自ら学び、心豊かに、たくましく生きる西大路の子の育成

- ・ しっかり考える子
- ・ 思いやりのある子
- ・ 心も体も元気な子
- ・ 地域に生き、地域の伝統と文化を受け継ぐ子

集計表・レーダーチャートから見えること

◎知・徳・体バランスよく育てる

保護者のみなさんも児童も「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく伸ばしていきたいと考えていることが分かります。また、「地域に生き、地域の伝統と文化を受けつぐ子」については、他の3つのカテゴリーに比べるとポイントは下がりますが、質問内容が具体的であったためだと考えられます。「地域に生き、地域の伝統と文化を受けつぐ」学習の中で学力が育つのです。どの質問項目においても、重要度は高いポイントです。本校が目指す目標に向かうために大切にしたいと考えていることを理解していただいていると考えます。今後も保護者のみなさんと一緒に子どもたちを育てていきます。

◎家庭学習・読書 子どもと親の意識のズレ

一般にニーズ度が25ポイントを超えるものについて、対策を考えていきます。25ポイントを超えたのは、保護者の「家で読書をしていますか。」です。児童の方は14ポイントですので、低いポイントです。児童の質問は、「本をよく読んでいますか」とあります。家庭だけでなく学校での読書も含まれています。学校では、読書タイムの取り組みなど、読書指導に力を入れています。作業が早く終わって出来る隙間の時間にも子どもたちは本を読んでいます。しかし、高学年になると、いつも読んでいる本が自分のそばにある児童は少ない。学校では、読書の時間が設定されているので本を読むが、家では読んでいない児童が多いと考えられます。読書は、思考力・表現力を育てます。豊かな心も育てます。子どもたちは、本が好きです。でも、外遊び、スポーツ、ゲームやテレビの時間を削ってまで読書をする児童が少ないのであります。家庭でも家族みんなで本や新聞を読む読書タイムを設定されてはどうでしょう。後期から、自分が読んでいる本をいつも近くに置く「マイブック・マイバック」の取り組みを始めます。また、教科学習で子どもたちが興味を持った本を図書館から選んできて教室に置いておく等、幅広い読書指導をしていきます。

「家でしっかり学習をしていますか。」についても保護者のニーズ度が高く、児童は低いです。本校の子どもたちの学習態度は学年に応じた学習規律が守られしっかりと学習ができます。放課後学び教室や、学童保育所で宿題をやって帰ることも多いので、家で勉強している姿をあまり見られなくなったために保護者は家で学習していないと評価されているのだと考えます。自分で課題を見つけ自主学習をする自律した学習習慣を育していくことが大切です。

◎規範意識を高める

保護者、児童とも「学校のきまりを守っていますか。」について高いポイントです。頭ではきまりを守ることは大切だとわかっていても実際にはなかなか守れないことが問題です。規律違反があつて指導をすると、素直に悪かったことを認め、何が間違っていたのかも理解しているのであるが、やってしまっているようです。自分勝手な思いであつたり、相手の気持ちが想像できなかつたりすることが原因であるように感じます。

一つ一つの事例に対して、自分の行動がどのようなことになるのか、周りの人々にどのような影響をもたらすのかしっかりと想像力を働かせ考える時間をとっていきたいと考えます。

◎学習習慣と生活習慣の相関関係

		家庭学習						しっかり勉強			
	保護者	A	B	C	D	児童	A	B	C	D	
望ましい 生活習慣 ができる いる。	A	9	23	10	0	A	18	23	10	2	
	B	6	29	14	2	B	12	10	0	0	
	C	1	11	8	0	C	5	3	7	0	
	D	1	1	1	1	D	0	1	0	0	

D	C	B	A	よくできている
できていません	あまりできません	できています	できています	できています
できていません	できていません	できています	できています	できています
できていません	できていません	できています	できています	できています

「早寝早起き朝ごはん」などの基本的生活習慣ができている児童は、家庭学習がしっかりとできている傾向が分かれます。生活習慣が確立していると、一日を計画的にすごすことができ家庭学習の習慣づけが同時にできると考えられます。毎日の積み重ねで確かな学力向上につながります。

● 外部評価（学校運営協議会理事会でのご意見）

- ・西大路の子どもは、おとなしい。元気がないということはないが、大変聞きわけがよく、注意をしなければならないことがあっても、素直に聞く。より高い目標にむかってがんばらせていることが多い。おとなしく手のかからない子どもが多いが、大変子どもらしく、押さえつけられておとなしくしているということではない。
- ・異年齢の子どもたちの交流が日常的に行われており、異年齢で仲良くあそんでいる。やさしさが育っていると感じる。
- ・茶道体験をしてもらったが、行儀がよく、教えたことをすべて吸収しようとする気持ちを感じる。男子がとくにまじめに取り組んでいる。
- ・読書については、個人差がある。兄妹でも、まったく違う。読まない子は全く読まない。よく読書をする子は、語彙も多く、言葉への関心も高くどんどん語彙を増やしていく。
- ・「読みなさい。」といって読書をするようになるものでもない。親が読書をするようになれば子どもも読むようになるのではないか。態度で示すことが必要。映画を見て関心を持ったことについて本を借りてきて読むようになった例もある。
- ・自分が読みたいと思ったときが、意欲的に読書に取り組むことができる。習慣づけができる。小学校の時に全く読まなかつた子が、突然読みだすことが多い。学習でも、算数が苦手な子に、何度も繰り返し説明してもできなかつたのに、現金に置き換えて説明したらできるようになった子もいた。その子の興味を引きずり出すことで意欲が生まれてくる。
- ・全体的に素直で聞きわけがよくやりやすい子と言えるが、場面によって使い分けていると思う。少年補導のキャンプでは、集合時刻に来なかつたり、夜中に、探検に出歩いたりする子もいて、羽目を外していた。
- ・夏休みのパトロールでも、外に出歩いて遊んでいる児童は中学生も含めていなかつた。落ち着いている地域である。親の目もない、学校という縛りもないキャンプで発散していたのかもしれない。子どもたちは、とても楽しいそして大切な体験をしたのだと思う。
- ・あいさつについては、こちらが声をかけるとするが、顔を知らないと声が出ないことが多い。
- ・低学年の児童は、元気よく反応をしますが、大きくなるに従って、反応が小さくなる。自分はあいさつをしているつもりでも、元気がなく明るい気持ちのいいあいさつにはなっていない。
- ・地域行事については、たくさんの児童が参加している。学年によっての偏りもある。親が参加する家庭は子どもも参加する。親の参加も多い地域である。

後期に向けて

素直で子どもらしく、学習にがんばって取り組み、みんなとても仲良く、大変落ち着いた西大路小学校の子どもたちですが、家庭でのアンケート結果、地域での学校外での、なかなか言うことを聞かなかつたり、羽目をはずしたりしている子どもたちの様子を知ることができ、学校とは違う姿にうれしく思いました。そして、その子どもたち全体を受けて支えてくださっている西大路地域の教育力の高さを誇りたいと思います。学校だけで子どもたちが育つわけではありません。今後も、家庭・地域・学校で、しっかりと子どもを受け止めて育んでいきたいと考えます。

読書も学習も習慣化することが、目標となります。自分から「本を読みたい。」「勉強したい。」という意欲を育てていくことが、不可欠です。「意欲」を教えることは大変難しいと思います。「本はおもしろい。」「学習って楽しい。」と思える経験をコツコツ積み上げていきたいと考えます。

学校図書館を充実させ、身近にいつも読んでいる本があるという環境を整えていきます。後期からは女性会による読み聞かせも始まります。地域のみなさんに協力していただいている体験活動、地域学習をさらにしっかりと進めています。地域の方との交流を進めていくことで、コミュニケーション能力をはじめとする学力の伸長を図ることができます。実際に体験すること、地域の人からお話を聞くことは、大変楽しい学習です。学習の中で新たな疑問が出てきたら、自分でいろんな人に聞きに行くことができます。自分で課題を解決する体験になります。このような豊かな学習を積み上げていきたいと考えています。